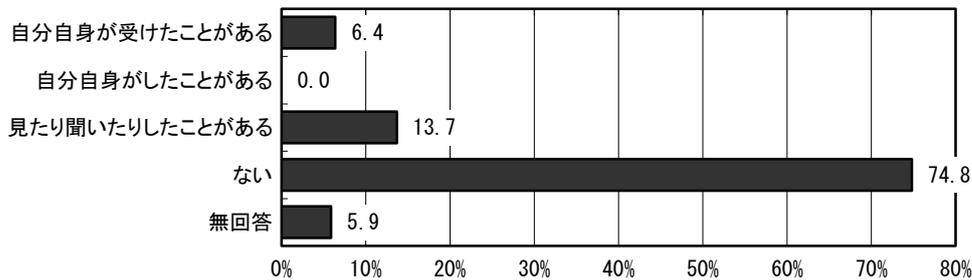


11 セクシュアル・ハラスメント、DVについて

問21 過去5年以内に、あなたの身近なところ（職場・地域・学校）にセクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）がありますか？（MA）

「ない」が74.8%で突出しています。「見たり聞いたりしたことがある」が13.7%、「自分自身が受けたことがある」が6.4%で続いています。

(MA) N=591



<「問1-1 性別」とのクロス集計>

“女性”の「自分自身が受けたことがある」の割合が“男性”と比べて高くなっています。

	合計	自分自身が受けたことがある	自分自身がしたことがある	見たり聞いたりしたことがある	ない	無回答
上段:度数						
下段:%						
女性	224 100.0	22 9.8	—	28 12.5	166 74.1	11 4.9
男性	138 100.0	2 1.4	—	23 16.7	107 77.5	6 4.3

<「問1-3 職業」とのクロス集計>

“パート・アルバイト・内職”の人の「自分自身が受けたことがある」の割合が他の職業と比べて高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	自分自身が受けたことがある	自分自身がしたことがある	見たり聞いたりしたことがある	ない	無回答
自営業	42 100.0	1 2.4	-	5 11.9	32 76.2	4 9.5
家族従業者	9 100.0	-	-	1 11.1	8 88.9	-
勤め人(常勤・フルタイム・会社役員)	208 100.0	18 8.7	-	37 17.8	153 73.6	2 1.0
パート・アルバイト・内職	100 100.0	14 14.0	-	16 16.0	69 69.0	3 3.0
派遣社員	4 100.0	-	-	-	4 100.0	-
生徒・学生	17 100.0	-	-	2 11.8	15 88.2	-
専業主婦・主夫	85 100.0	1 1.2	-	6 7.1	75 88.2	3 3.5
無職	118 100.0	2 1.7	-	13 11.0	83 70.3	21 17.8

【他調査との比較】

過去調査と比べて「ない」の割合が高くなっています。

(%)	今回調査(H28年)	H23年調査	H18年調査
	N=591	N=627	N=521
自分自身が受けたことがある	6.4	6.2	9.2
自分自身がしたことがある	0.0	0.3	1.7
見たり聞いたりしたことがある	13.7	18.3	20.7
ない	74.8	68.7	58.2
無回答	5.9	6.4	10.2

【他調査との比較 男女別のクロス集計】

H23年調査と比べて男女ともに「ない」の割合が高くなっています。

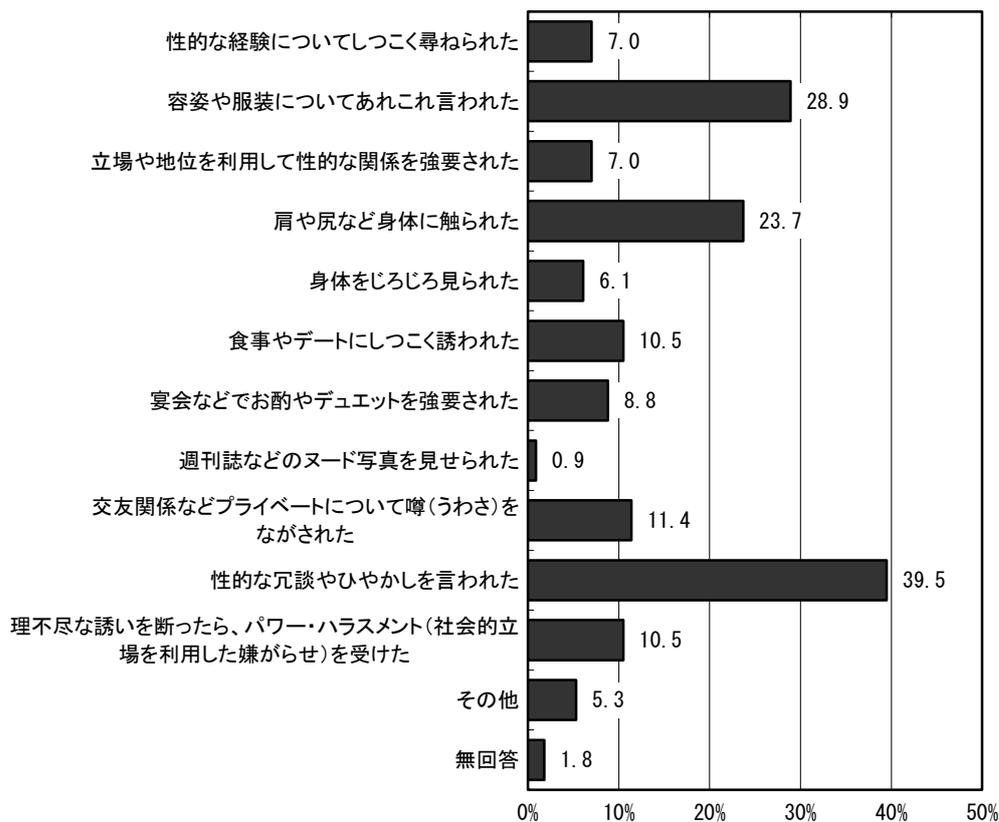
(%)	今回調査(H28年)		H23年調査	
	女性 N=224	男性 N=138	女性 N=331	男性 N=238
自分自身が受けたことがある	9.8	1.4	10.3	0.8
自分自身がしたことがある	0.0	0.0	0.3	0.4
見たり聞いたりしたことがある	12.5	16.7	19.0	20.2
ない	74.1	77.5	66.2	71.0
無回答	4.9	4.3	4.2	7.6

問 21 で「1. 自分自身が受けたことがある」または「3. 見たり聞いたりしたことがある」と回答した方を対象とした設問

問22 その内容はどんなものだったのでしょうか？ (MA)

「性的な冗談やひやかしを言われた」が 39.5%で最も高くなっています。次いで「容姿や服装についてあれこれ言われた」が 28.9%、「肩や尻など身体に触られた」が 23.7%で続いています。

(MA) N=114



【他調査との比較】

H18年調査と比べて概ねすべての項目の割合が低くなっています。「性的な冗談やひやかしを言われた」の割合はH23年調査と比べて高くなっています。

(%)	今回調査(H28年)	H23年調査	H18年調査
	N=114	N=154	N=48
性的な経験についてしつこく尋ねられた	7.0	11.7	22.9
容姿や服装についてあれこれ言われた	28.9	30.5	45.8
立場や地位を利用して性的な関係を強要された	7.0	11.7	8.3
肩や尻など身体に触られた	23.7	32.5	62.5
身体をじろじろ見られた	6.1	14.3	12.5
食事やデートにしつこく誘われた	10.5	15.6	16.7
宴会などでお酌やデュエットを強要された	8.8	19.5	20.8
週刊誌などのヌード写真を見せられた	0.9	3.2	2.1
交友関係などプライベートについて噂(うわさ)をながされた	11.4	12.3	16.7
性的な冗談やひやかしを言われた	39.5	26.6	37.5
理不尽な誘いを断ったら、パワー・ハラスメント(社会的立場を利用した嫌がらせ)を受けた	10.5	9.7	
その他	5.3	8.4	4.2
無回答	1.8	5.8	0.0

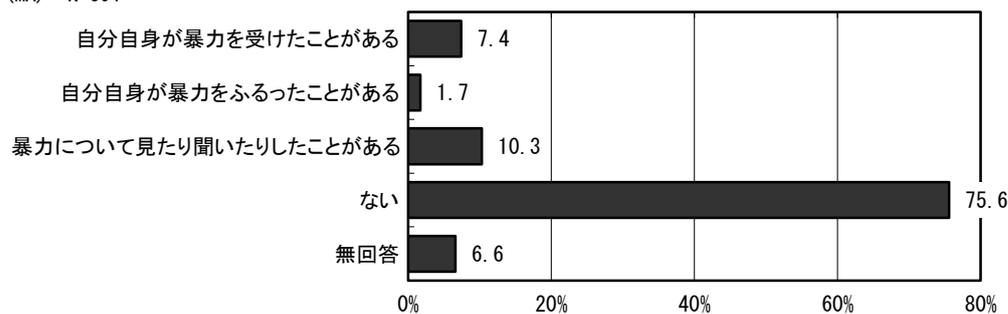
【主なその他回答】

内容	類似回答数
最近人間の成長ができていない上司が多いのが目立つ	1
SNS、LINE のアドレスを聞く	1
子どものいない上司(女性)に子育てをしながらの仕事への理解が得られない	1

問23 DVが社会問題になっていますが、過去5年以内にあなたの身近にこのような暴力がありますか (MA)

「ない」が75.6%で突出しています。「暴力について見たり聞いたりしたことがある」が10.3%、「自分自身が暴力を受けたことがある」が7.4%で続いています。

(MA) N=591



<「問1-1 性別」とのクロス集計>

“女性”の「自分自身が暴力を受けたことがある」の割合が“男性”と比べて高くなっています。

	合計	自分自身が暴力を受けたことがある	自分自身が暴力をふるったことがある	暴力について見たり聞いたりしたことがある	ない	無回答
上段:度数						
下段:%						
女性	224 100.0	22 9.8	4 1.8	20 8.9	170 75.9	13 5.8
男性	138 100.0	4 2.9	2 1.4	14 10.1	109 79.0	10 7.2

<「問1-4 結婚」とのクロス集計>

“離婚”した人の「自分自身が暴力を受けたことがある」の割合が他の結婚状況と比べて高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	自分自身が暴力を受けたことがある	自分自身が暴力をふるったことがある	暴力について見たり聞いたりしたことがある	ない	無回答
既婚(事実婚を含む)	422 100.0	25 5.9	8 1.9	41 9.7	332 78.7	20 4.7
離婚	35 100.0	11 31.4	-	-	18 51.4	6 17.1
死別	48 100.0	7 14.6	1 2.1	7 14.6	31 64.6	6 12.5
未婚	77 100.0	1 1.3	1 1.3	12 15.6	61 79.2	4 5.2

【他調査との比較】

過去調査と比べて「ない」の割合が高くなっています。

(%)	今回調査(H28年)	H23年調査	H18年調査
	N=591	N=627	N=521
自分自身が暴力を受けたことがある	7.4	5.3	7.5
自分自身が暴力をふるったことがある	1.7	1.6	2.5
暴力について見たり聞いたりしたことがある	10.3	15.0	22.6
ない	75.6	70.8	60.1
無回答	6.6	7.3	7.3

【他調査との比較 男女別のクロス集計】

H23年調査と比べて男女ともに「ない」の割合が高くなっています。

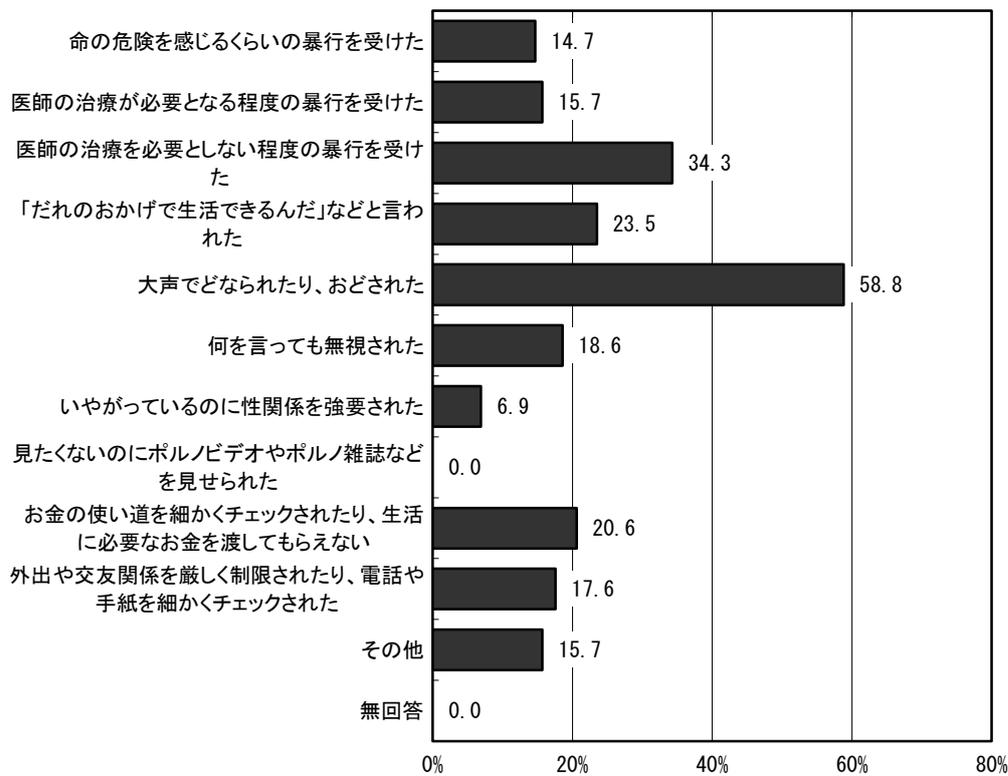
(%)	今回調査(H28年)		H23年調査	
	女性 N=224	男性 N=138	女性 N=331	男性 N=238
自分自身が暴力を受けたことがある	9.8	2.9	8.8	1.7
自分自身が暴力をふるったことがある	1.8	1.4	0.3	3.4
暴力について見たり聞いたりしたことがある	8.9	10.1	18.1	11.3
ない	75.9	79.0	68.6	74.8
無回答	5.8	7.2	4.2	8.8

問23で「1. 自分自身が暴力を受けたことがある」または「暴力について見たり聞いたりしたことがある」と回答した方を対象とした設問

問24 その内容はどのようなものでしたか？ (MA)

「大声でどなられたり、おどされた」が58.8%で突出しています。「医師の治療を必要としない程度の暴行を受けた」が34.3%、「だれのおかげで生活できるんだ」などと言われた」が23.5%、「お金の使い道を細かくチェックされたり、生活に必要なお金を渡してもらえない」が20.6%で続いています。

(MA) N=102



【他調査との比較】

過去調査と比べて「命の危険を感じるくらいの暴行を受けた」、「お金の使い道を細かくチェックされたり、生活に必要なお金を渡してもらえない」の割合が高くなっています。

(%)	今回調査(H28年)	H23年調査	H18年調査
	N=102	N=127	N=39
命の危険を感じるくらいの暴行を受けた	14.7	8.7	10.3
医師の治療が必要となる程度の暴行を受けた	15.7	17.3	15.4
医師の治療を必要としない程度の暴行を受けた	34.3	39.4	51.3
「だれのおかげで生活できるんだ」などと言われた	23.5	22.8	38.5
大声でどなられたり、おどされた	58.8	57.5	61.5
何を言っても無視された	18.6	11.8	10.3
いやがっているのに性関係を強要された	6.9	12.6	30.8
見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌などを見せられた	0.0	0.8	2.6
お金の使い道を細かくチェックされたり、生活に必要なお金を渡してもらえない	20.6	15.7	
外出や交友関係を厳しく制限されたり、電話や手紙を細かくチェックされた	17.6	18.9	25.6
その他	15.7	7.1	5.1
無回答	0.0	7.9	2.6

【主なその他回答】

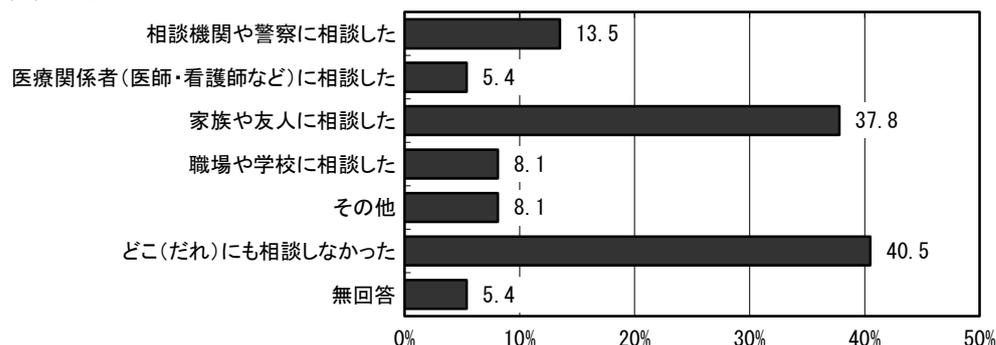
内容	類似回答数
暴力、暴言	3
DV を直接受け家裁へと発展し現在離婚	1
医療関係に勤務している為問 23 の3に丸をつけた	1
間接的に聞いただけ	1
兄、妹、親を悪く言われた	1
子どもに対して暴力を受けさせた(聞いた話)	1
酒が入ると暴力的になる	1
職場や出かける先までついてきたり、電話をチェックされた	1
新生児の子育て中に何度も浮気をされ、家に帰らない日々が続く、睡眠不足もあって死にたいと思いつつ続けた日々があった	1
身近な人がDVを受けていた	1
双方平等になりにくい	1
本人にその気はなくても暴言をはかれたと感じたことがある	1

問 23 で「1. 自分自身が暴力を受けたことがある」と回答した方を対象とした設問

問25 暴力を受けたことについて、誰かに相談しましたか？ 相談先はどこでしたか？ (MA)

「どこ（だれ）にも相談しなかった」が 40.5%、「家族や友人に相談した」が 37.8%で群を抜いて高くなっています。「相談機関や警察に相談した」が 13.5%で続いています。

(MA) N=37



【他調査との比較】

H23 年調査と比べて「家族や友人に相談した」、「どこ（だれ）にも相談しなかった」の割合が高くなっています。

（%）	今回調査(H28年)	H23年調査
	N=37	N=33
相談機関や警察に相談した	13.5	12.1
医療関係者(医師・看護師など)に相談した	5.4	6.1
家族や友人に相談した	37.8	21.2
職場や学校に相談した	8.1	3.0
その他	8.1	6.1
どこ(だれ)にも相談しなかった	40.5	24.2
無回答	5.4	42.4

【主なその他回答】

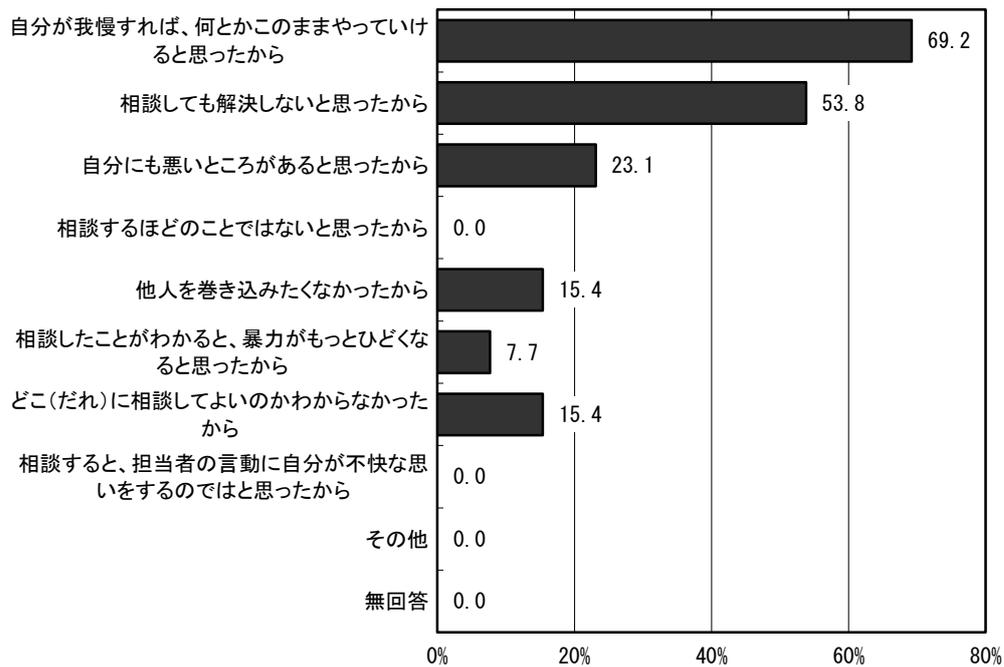
内容	類似回答数
無視。その場から離れる	1
親の反対を押し切った結婚だったので相談できず限界まで我慢すれば自ずから結論はでると思った。内心結論は解っていた。当時は生活安全課が無かったので相談に乗ってもらえず自分で自分を守るしかない子どもが寝ると車で外出して車の中で寝ていた。五体満足の状態離婚できるようにと努力した	1
兄妹に話を聞いてもらった	1

問 25 で「6. どこ（だれ）にも相談しなかった」と回答した方を対象とした設問

問26 相談しなかったのはなぜですか？ (MA)

「自分が我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから」が 69.2%で最も高くなっています。次いで「相談しても解決しないと思ったから」が 53.8%、「自分にも悪いところがあると思ったから」が 23.1%で続いています。

(MA) N=13



【他調査との比較】

H23年調査と比べて「他人を巻き込みたくなかった」、「相談したことがわかると、暴力がもっとひどくなると思ったから」、「どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから」の割合が低くなっています。

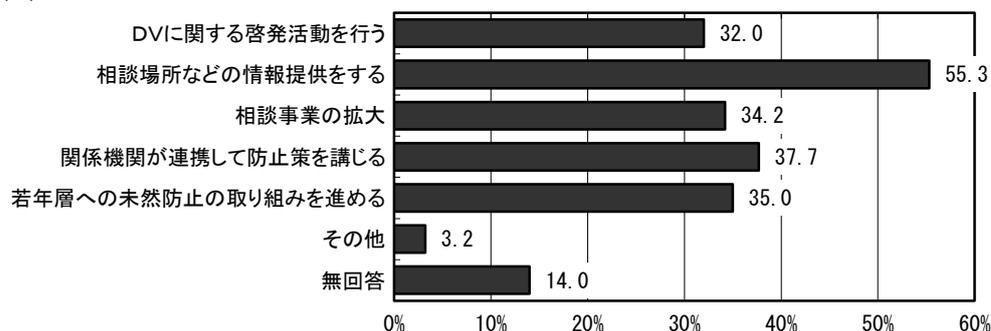
（％）	今回調査(H28年)	H23年調査
	N=13	N=8
自分が我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから	69.2	62.5
相談しても解決しないと思ったから	53.8	62.5
自分にも悪いところがあると思ったから	23.1	25.0
相談するほどのことではないと思ったから	0.0	12.5
他人を巻き込みたくなかったから	15.4	75.0
相談したことがわかると、暴力がもっとひどくなると思ったから	7.7	25.0
どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから	15.4	37.5
相談すると、担当者の言動に自分が不快な思いをするのではと思ったから	0.0	0.0
その他	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0

【H28 年調査新規設問】

問27 DVやセクシュアル・ハラスメントの対応策として、市が取り組むべきことはなんでしょうか？(MA)

「相談場所などの情報提供をする」が 55.3%で最も高くなっています。次いで「関係機関が連携して防止策を講じる」が 37.7%、「若年層への未然防止の取り組みを進める」が 35.0%で続いています。

(MA) N=591



<「問21 身近なところでのセクハラの有無」とのクロス集計>

“自身が受けたことがある”人では「相談場所などの情報提供をする」、「相談事業の拡大」の割合が他の状況と比べて高くなっています。

	合計	DVに関する啓発活動を行う	相談場所などの情報提供をする	相談事業の拡大	関係機関が連携して防止策を講じる	若年層への未然防止の取り組みを進める	その他	無回答
上段:度数								
下段:%								
自分自身が受けたことがある	38 100.0	10 26.3	24 63.2	21 55.3	13 34.2	11 28.9	2 5.3	2 5.3
自分自身がしたことがある	-	-	-	-	-	-	-	-
見たり聞いたりしたことがある	81 100.0	30 37.0	44 54.3	32 39.5	26 32.1	37 45.7	5 6.2	8 9.9
ない	442 100.0	142 32.1	254 57.5	149 33.7	180 40.7	154 34.8	12 2.7	51 11.5

<「問23 身近なところでのDVの有無」とのクロス集計>

“暴力について見たり聞いたりしたことがある”人、身近なところでのDVが“ない”人では「関係機関が連携して防止策を講じる」の割合が他の状況と比べて高くなっています。

	合計	DVに関する啓発活動を行う	相談場所などの情報提供をする	相談事業の拡大	関係機関が連携して防止策を講じる	若年層への未然防止の取り組みを進める	その他	無回答
上段:度数 下段:%								
自分自身が暴力を受けたことがある	44 100.0	15 34.1	20 45.5	19 43.2	6 13.6	16 36.4	3 6.8	1 2.3
自分自身が暴力をふるったことがある	10 100.0	3 30.0	5 50.0	5 50.0	-	2 20.0	-	1 10.0
暴力について見たり聞いたりしたことがある	61 100.0	24 39.3	37 60.7	25 41.0	25 41.0	24 39.3	7 11.5	3 4.9
ない	447 100.0	142 31.8	258 57.7	155 34.7	187 41.8	161 36.0	8 1.8	56 12.5

【主なその他回答】

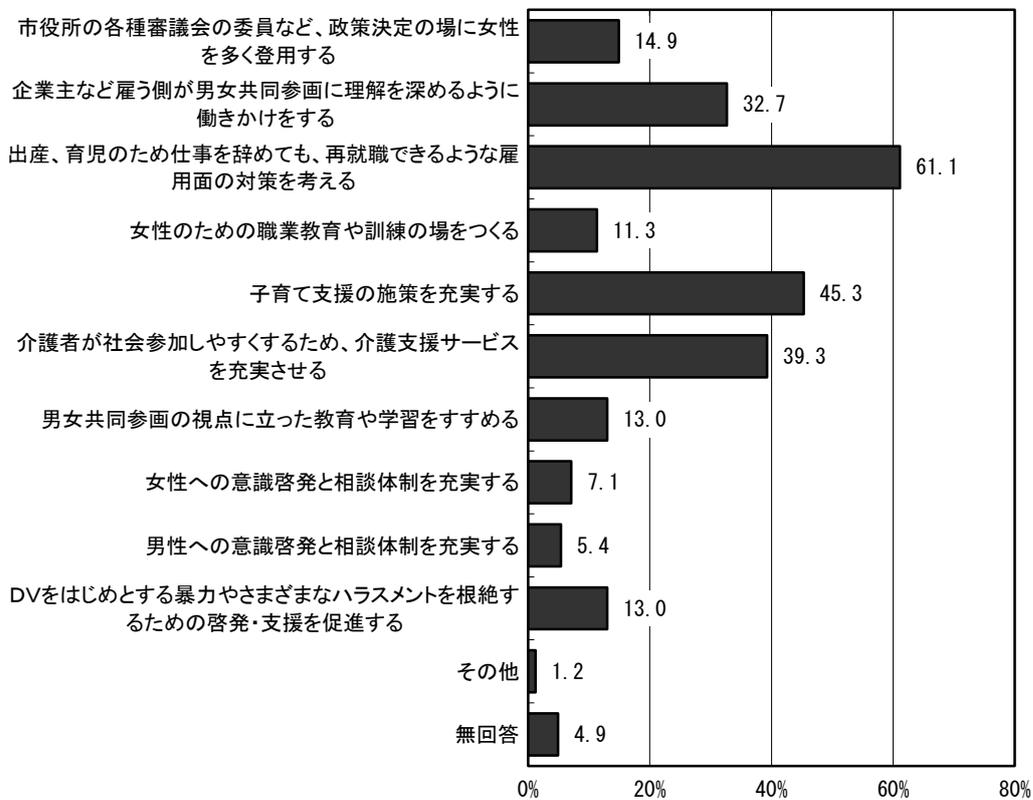
内容	類似回答数
相談に行ったことがバレるともっとDVがひどくなるかもしれないので、DVの被害者を守ってあげる施設や避難場所が必要なのは	3
DV、セクハラは育児環境や人間形成の間や持って生まれた遺伝なども関係すると思う。現状を縫うだけでなく一人一人の環境まで遡って考えなければならないと思う。余計に家庭の大切さを思う	1
DVを受けている人はなかなか人に言えない。DVをしている人は自分が悪いと思っている、または自覚がない人が多い。悪いと思ってもやめられない人が多い。早期発見、プロの人がかかわり教育していく	1
もっと真剣に素早い対応をすることが大切	1
近所づきあいから悩みを打ち明けられる人	1
現実的な対応、私は警察にもかるく扱われた	1
言葉が通じない連中に話してわかるわけがない。厳罰化	1
個人が大人になる	1
小さいころから人として誰もがみんな大切に扱われる存在であることを教えていくこと。暴言・暴力は許されないことを繰り返し教えていくことが大切であると思う	1
小中高と学校での教育が必要	1
周りから見てDVではと思っても本人がDVだとは思っていないケースもあるのでは	1
騒ぎすぎ。被害者(?)の思いだけでセクハラ、パワハラとなるのは考え物	1
知り合いなどに言いふらされそう	1
暴力を振るった人が自首したらその人にお金を出す	1

12 行政の役割について

問28 男女共同参画社会の実現に向けて、津山市は、今後どのようなことに力をいれていけばよいと思いますか？ (MA)

「出産、育児のため仕事を辞めても、再就職できるような雇用面の対策を考える」が61.1%で最も高くなっています。次いで「子育て支援の施策を充実する」が45.3%、「介護者が社会参加しやすくするため、介護支援サービスを充実させる」が39.3%、「企業主など雇う側が男女共同参画に理解を深めるように働きかけをする」が32.7%で続いています。

(MA) N=591



【他調査との比較】

H23年調査と比べて「出産、育児のため仕事を辞めても、再就職できるような雇用面の対策を考える」、「DVをはじめとする暴力やさまざまなハラスメント根絶するための啓発・支援を促進する」の割合が高くなっています。

(%)	今回調査(H28年)	H23年調査
	N=591	N=627
市役所の各種審議会の委員など、政策決定の場に女性を多く登用する	14.9	16.4
企業主など雇う側が男女共同参画に理解を深めるように働きかけをする	32.7	29.5
出産、育児のため仕事を辞めても、再就職できるような雇用面の対策を考える	61.1	55.3
女性のための職業教育や訓練の場をつくる	11.3	12.1
子育て支援の施策を充実する	45.3	42.4
介護者が社会参加しやすくするため、介護支援サービスを充実させる	39.3	38.9
男女共同参画の視点に立った教育や学習をすすめる	13.0	15.5
女性への意識啓発と相談体制を充実する	7.1	8.3
男性への意識啓発と相談体制を充実する	5.4	5.1
DVをはじめとする暴力やさまざまなハラスメントを根絶するための啓発・支援を促進する	13.0	3.8
その他	1.2	3.2
無回答	4.9	5.6

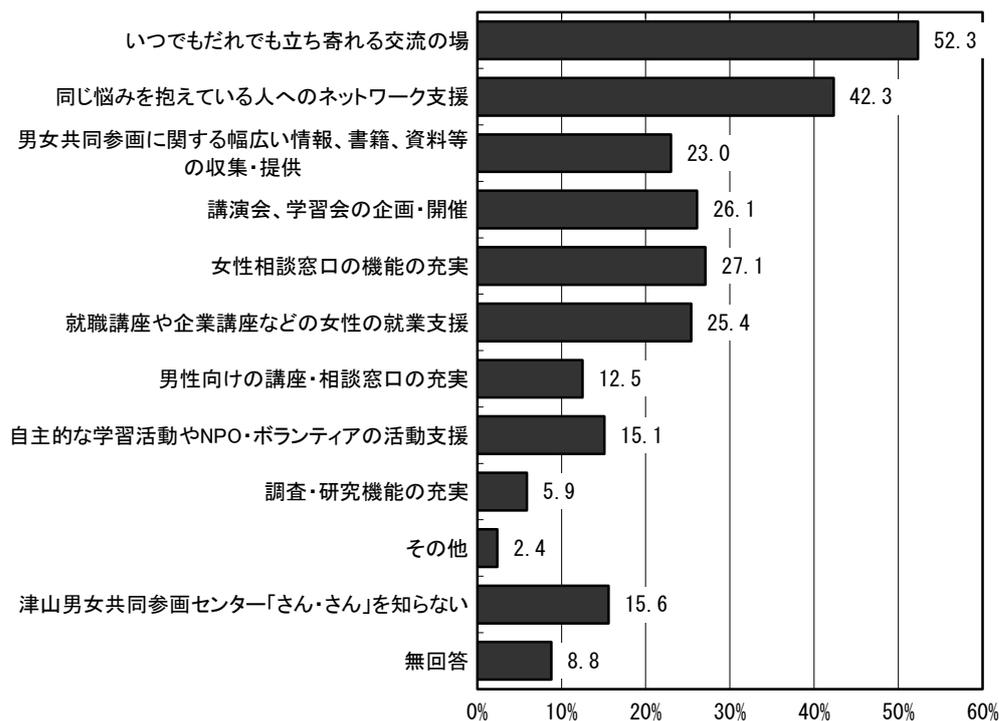
【主なその他回答】

内容	類似回答数
DV やセクハラに被害者も加害者も悩んでいる方もおられるのでは。専門の方を置き、心の内を語ったりする(育ち方など悩みなど)別々の場所を設置して話し合い学習する	1
いつも取組みや対策をすると行って今まで何も変わっていない。罰則化しないと誰も真剣に考えない。性善説に頼りすぎ	1
女性の意識改善、努力。完全な男女平等社会の実施。夫婦どちらも同等の勤務時間と賃金収入のある社会にする	1
人に暴力を振るう人は根本的に人に対する考え方が偏っている。子どもの頃から人権教育が大切。私の相手も外面はとてよく内面は逆だった	1
転勤族の妻でも働きやすい環境をつくる	1
被害者意識だけでは何も解決しない	1
要支援でも参加できる、行ける施設やサービスを増やす	1

問29 あなたは、津山男女共同参画センター「さん・さん」にどのような役割を期待しますか？ (MA)

「いつでもだれでも立ち寄れる交流の場」が52.3%で最も高くなっています。次いで「同じ悩みを抱えている人へのネットワーク支援」が42.3%、「女性相談窓口の機能の充実」が27.1%で続いています。

(MA) N=591



【他調査との比較】

H23年調査と比べて「津山男女共同参画センター「さん・さん」を知らない」の割合が低くなっています。

（％）	今回調査(H28年)	H23年調査
	N=591	N=627
いつでもだれでも立ち寄れる交流の場	52.3	45.0
同じ悩みを抱えている人へのネットワーク支援	42.3	33.5
男女共同参画に関する幅広い情報、書籍、資料等の収集・提供	23.0	23.4
講演会、学習会の企画・開催	26.1	23.0
女性相談窓口の機能の充実	27.1	23.1
就職講座や企業講座などの女性の就業支援	25.4	22.2
男性向けの講座・相談窓口の充実	12.5	12.9
自主的な学習活動やNPO・ボランティアの活動支援	15.1	16.1
調査・研究機能の充実	5.9	4.9
その他	2.4	3.7
津山男女共同参画センター「さん・さん」を知らない	15.6	26.2
無回答	8.8	8.0

【主なその他回答】

内容	類似回答数
「さんさん」についての広報活動をまずやってほしい。「さんさん」の設置は知っているが、具体的な利用内容はよく知らないから	3
立ち寄りにくい	2
あるのは知っているが毎日楽しくしているので行くこともない	1
駐車料金のいらないうところ	1
ホームページ開設	1
ワーク・ライフ・バランス推進の為に企業、事業所の啓発とその実行	1
活動実態が見えない。一部の人で満足しているのでは	1
交通を利用するものがない。いつもタクシーを利用している。何とかして	1
参加したことがなくアルネも年何回も行かないので行事内容が分かれば参加してみたい	1
市内にあるボランティアグループの掌握	1
相談者に教育を、相談者の意識改革	1
男女共同よりも子どもの為に予算をあててください	1